

Tricolor

大会・公式戦結果

JUNIOR YOUTH

【県 U-13 リーグ】

vs KAZU SC 4-1○

vs 西中原中 4-4△

vs Vida SC いさま 1-3●

【県 U-15 リーグ】

vs 神田中 5-1○

YOUTH

【県クラブユースリーグ】

vs FC 川崎栗の木 0-4●

vs ヴェルディ SS 相模原 0-2●

vs CFG-YOKOHAMA 0-3●

今、グラウンドでは・・・

TOP

【2022 年シーズン】

明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

かながわクラブ TOP チームは、
少々お正月休みをいただきました。
というのも、例年だと1月中には、
天皇杯予選を兼ねた神奈川県社
会人選手権が始まるのですが、今
年度はコロナの影響で参加チ
ーム数を減らしたため、出場権を得
ることができませんでした。加えて
県リーグ戦が年末まで伸びたため、
選手たちのリフレッシュを兼ねて、
正月休みを取ることにしました。

その一方で、この時期は来季に
向けたチーム作りを準備していま
す。選手一人一人に来期も継続
できるかの意思確認を行っていま

す。例年だと、このようなアマチュ
アチームでも 10 人前後の退会者
がいるのですが、今年はその数も
少なく今年度とほぼ同じ、あるい
はそれ以上の布陣で来シーズン
に臨めそうです。

オミクロンの影響で予断を許さ
ない状況が続きますが、今年も
TOP チームの応援よろしくお願
いいたします。

【オフィシャルサイト TOP チームページ】

<http://www.kanagawaclub.com/topteam.html>

(中本 洋一)

YOUTH

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。

12 月から新しく神奈川県クラ
ブユースリーグが始まりましたが、
なかなか良い結果が出ていま
せん。1 人ひとりのプレーに甘さが
感じられます。守備をしているつも
りであるかもしれませんが、相手か
らしたら全然プレッシャーになっ
ていないような守備ばかりです。相
手がボールを下げるしかないくら
い気迫のあるプレッシャーをかけ
ている選手は 1 人もいません。本
気でボールを奪いに行こう、ボー
ルを奪われたらすぐに取り返そう
とする選手も少ないです。

攻撃と守備の時のボール付近
にいない選手も常に準備をしてお
かなければなりません。抜かれた
時のカバーに入る準備しておく
事、スペースを埋める事、攻撃の
準備をしておく事、足と頭を休ま

せる暇なんてありません。自分のポジションに戻ってから休むことを忘れずにプレーしてください。

12月には攻撃をメインに言ってきましたが、1月は守備(プレス、それ以外の選手の立ち位置)について改善していきたいと思います。攻守の切り替えも早くすることも忘れずに取り組んで欲しいと思います。厳しいプレッシャーの中で練習すれば攻撃も必ず上達します。頑張ってください。

(今川 暉一朗)

JUNIOR YOUTH

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

12月には県U-15リーグの最終戦を行いました。結果は5-1と最終戦を勝利することができました。最後は中3が参加せず中2だけでの試合となりましたが、先輩の意思を引き継ぎしっかりと勝利することができました。U-15リーグ2ndステージは、5勝4敗で10チーム中5位という成績となりました。上位チームとの敗戦は、様々な理由によりメンバーが揃わなかったり、中3生が抜けてしまったあとであったりと、全員参加のベストメンバーで臨めれば結果も変わったのではないかと悔いの残る部分はあります。改めてリーグ戦を戦い抜くことの難しさを痛感いたしました。後半は中2中心で戦うことにより、中2生たちにと

っては今後につながる非常に貴重な経験を積むことができました。

1月はトレーニングマッチやユース(高校生年代)の試合への出場を通して、2月からスタートする県U-15リーグに向けて個人としてもチームとしてもさらに成長していけるよう取り組んでいきます。

(豊田 泰弘)

U-13は12月にリーグ戦を4試合行い、1勝2分1敗という成績に終わりました。勝ち点は5ポイントで8チーム中、暫定4位につけております。

この中の2つの引き分けは2試合ともに終了間際に追いつかれた引き分けとなり、簡単には勝たせてもらえない公式戦の厳しさを感じております。

しかし、明るい材料としては4節終了時点で10得点を奪いました。全7試合で6得点だった1stステージと比べてパスをつなぐテンポが速くなり、【MFからFWへのスルーパス】から得点できるようになりました。これはコートの中盤にあたる【ミドルサード】でボールホルダーが前を向けるようになった証拠であり、練習の成果も現れていると思います。

反対に、失点数は4試合で9失点と多く、DFラインが高い位置で試合を進めるため、【ロングボールの処理】や【カウンターに対する守備】がうまくいかないことからの失点が多いことが現状の課題となります。これも1stステージ

にはなかった失点のパターンとなりますので、前向きに捉えて練習から課題解決に向けて取り組んでいきます。

リーグ戦の残り3試合は全ての相手が上位チームとの対戦になりますが、今の課題に向き合いながらも攻撃力に自信を持ち、真向勝負でぶつかっていきたくと思います。

応援の程、よろしく願いいたします。

(樋口 圭太)

小6

明けましておめでとうございます。

昨年もコロナ禍で制限の多い中の活動となりましたが、保護者の皆様のご理解とご協力があり活動することができました。ありがとうございました。2022年も引き続きよろしくお願いいたします。

1年間を振り返って、練習や試合を一生懸命取り組む選手が増えたと感じます。そうした意識が全体の質を高め、個人の成長につながっていると思います。これからも切磋琢磨しながら取り組んでほしいと思います。

そして、2022年は昨年取り組んできた個人技術、サッカー理解の部分を中学生年代へつなげていきたいと考えています。

引き続きよろしくお願いいたします。

(古山 未来)

小5

あけましておめでとうございます。
本年もよろしく願いいたします。

1月からは公式戦である横浜市
長杯がスタートします。この大会は
いきなりトーナメント形式の大会と
なり、負けたらそこで終了となりま
す。5年生になり初めての大きな
公式戦となります。どんな試合を
選手たちが見せてくれるか、非常
に楽しみにしています。少しでも
良い試合をして成長につながる大
会にできるよう、しっかりと準備を
して試合当日を迎えたいと思いま
す。

年末年始をはさんだうえに、年
明けに予定されていた活動が雪
の影響により中止となってしまっ
たこともありだいぶ活動間隔が空い
てしまいました。またみんなと一緒
にサッカーができることを楽しみに
しています。怪我や体調不良には
十分に気を付けて元気に活動に
参加して、夢中にサッカーに取り
組んでください。

(豊田 泰弘)

小4

あけましておめでとうございます。

昨年はクラブの活動にご理解ご
協力いただきありがとうございました。
本年も子どもたちの成長のため
尽力していきます。子供たちには
是非サッカーや生活の目標を持
って新たな1年のスタートを切っ
ていただけたらと思います。

近頃はコロナウイルスが少しず
つ落ち着き始めいろいろな活動が
再開してきました。まだまだ予断を
許さない状況ではありますができ
る限りの対策を行いつつ今後も活
動していきます。引き続きのご協
力をよろしく願いいたします。

(青木 達也)

小3

明けましておめでとうございます。
本年もよろしく願いいたします。

昨年はプレーの変化や課題が
多く見つかった実りの多い1年
でした。プレーの変化で言うと、個人
だけの関係でなくドリブルとパス
を使いながら仲間と協力をしてゴ
ールへ向かうプレーが増えました。
課題という部分では個人の基礎技
術とボールへの執着心、球際の強
さが必要だと改めて感じておりま
す。昨年は神奈川区のリーグが中
心で、試合で負けることが少な
かったですが、いざ他区のチームと
試合をすると大差で敗れたりする
試合も多々ありました。強いチ
ームと対戦した時に技術や球際の強
さで圧倒されることを見ると、ま
ずは先程述べた2つの強化が必要
だと感じています。今年は昨年よ
りも技術練習、対人の練習を多く
取り入れ強化をできればと考えて
おります。

また生活面においては、できる
限り何事も個人で行うことを強く
言ってきました。挨拶を自分から
するようになったり、物の管理など
は少

ずつ良くなっている部分もある
と思います。ただ、まだメリハリ
の部分だったり、自分で行動を起
こすことが苦手な選手も多々
います。今年はそのようなところ
も改善して、少しでも自立した
個人を育成できるように努めて
いきたいと思っています。しっ
かりした個があるから良い集
団になり強いチームになってい
くと思っているのでそれを目指
して頑張っていきます。

昨年はコロナ禍ということもあり、
保護者の皆様とお話をする機会
があまりもてませんでした。今年
はできる限りコミュニケーションを
とり、皆様と一緒に子ども達の
成長をサポートできればと思っ
ておりますので本年も何卒よろ
しく願いいたします。

(高山 貴紀)

小2

【キーパーについて】

試合で、自分たちのゴールキック
をカットされてあつという間に
得点を決められたり、キーパー
の基本的なミスによって徒に失
点したりする場面があると、「も
っとキーパーを鍛えればよいの
に…」と考える保護者の方も
いらっしゃると思います。しか
し、たかだか小学2年生の段階
で、君はキーパーだからと決め
つけて専門的に鍛えることは、
その子の持つ無限の可能性を
狭めることになるのでは…と
考えます。サッカーに大切な
技術(ボールを止める・蹴る・
運ぶ・相手をかかわす)を鍛え
るべき時

に、キーパーに特化した偏ったトレーニングを強いることで、フィールドプレイヤーとして伸びていく可能性の芽が摘まれてしまうのです。早期英才教育の弊害とも考えられます。

かつては身体の大きな選手をキーパーに据えるという安易な考え方がありました。また、反射神経や身体能力の高い選手をという一見理に適った(?)考え方もありました。しかし、最近では、キーパーには最も上手なフィールドプレイヤーをあてるのが最適だという意見も耳にします。ルールの変更により、ゴールキーパーが味方のバックパスが手で扱えなくなったこと、また、最近の傾向では短いゴールキックからのビルトアップやフィールドプレイヤー並みの足元の技術(11人目のフィールドプレイヤーとしての)が求められていることも影響しているのでしょう。

FWにしても、MFにしても、DFにしても、勿論、GKにしても、早期にポジションを固定して鍛えることは、効率的ではありますが、柔軟な子どもたちの思考の発達をも阻害してしまいかねません。それより様々なポジションを経験し、それぞれのポジションの面白さや難しさを体感しながら、柔軟な思考を身につけ、徐々に自分の特性や性格に合ったポジションを決めていくことが、子どもたちにとっては大切だと思うのです。何よりもキーパーになった時の気持ちはキーパーを経験してみなければ解らないものですから。

実際、練習の最後のゲームや練

習試合では、志願制でキーパーを決めています。手を挙げる子がいないければ全員でじゃんけんをして決めることもあります。極論すれば、小学生低学年では、ドッジボールが一番上手な子をキーパーにする程度の考え方で良いのではないのでしょうか。ごく稀に、キーパーが好きで好きで仕方がないという子がいます。自らの意志でキーパーというポジションを選択し、自らキーパーとしての技術の向上に努力もしているのです。その場合には、できるだけ試合の際にはキーパーをやってもらおうと思いますが、普段のトレーニングでは、皆と同様に基本的な技術(ボールを止める・蹴る・運ぶ・相手をかかわす)を鍛えることに変わりがありません。

また、失点のシーンで、自分のチームのキーパーに文句を言っている選手を目にすることがあります。文句を言われたキーパーは、失点の悔しさと仲間から文句を言われた口惜しさで目に涙を浮かべることもあります。しかし、冷静に考えてみましょう。失点したことはキーパーだけの責任なののでしょうか？確かにゴールを守る最後の砦としてキーパーは存在しますが、シュートを打たれる場面を迎えるまでに、他の仲間は何をしていたのでしょうか？誰がボールを奪われたのでしょうか？奪われたボールを取り返そうとしてくれたのでしょうか？体を張ってシュートブロックしてくれたのでしょうか？そう考えると失点の責任は、キーパーだけでなくチーム全員が負うべきものなのではないのでしょうか。そう考えると

決してキーパー一人の責任ではないはずです。

【公式戦では…】

公式戦に限って言えば、ある程度、指導者(コーチ)が子どもたちの適性や能力の面か、キーパーを指名することになると思います。その場合でも、出来るだけ多くの選手がキーパーの経験を積めるように、そして、さまざまな子どもたちの可能性を狭めないように配慮し、一人の選手に固定することがないように心がけています。勝ちに拘るということではなく、子どもたちの無限の能力を伸ばすために、今できること(今しかできないこと)を最大限の努力をもって遂行するということになります。

キーパーをさせられている保護者の方の心中を察するに、ドキドキしてまともに見られないということがあるようです。しかし、キーパー一人に責任を押し付けるということは、決してありませんので、フィールドプレイヤーの保護者と同じように、気楽に試合観戦を楽しんでいただければと思います。

(佐藤 敏明)

幼児・小1

明けましておめでとうございます。

昨年中は、毎週の送迎にご理解、ご協力いただき、ありがとうございました。本年もよろしく願いいたします。

12月28日の招待杯は残念ながら

ら中止となってしまいました。12月26日のプレゼント交換会は子どもたちには楽しいイベントとなったようです。12月には3名の体験があり、1月からは25名での活動が期待できます。

1年生は、このカテゴリーでの活動は残り3ヶ月となりますが、交流戦を組み込んでより中身の濃い活動としていきます。幼児は、4月以降も引き続きこのカテゴリーとなりますが、コロナ感染もいよいよ収束に向かっていくこと、それに伴って新たなメンバーが続々と加わってくれることを期待しています。

保護者の皆様には、体験希望の方がいらっしゃいましたら是非ともご紹介くださいますよう、よろしくお願いいたします。

(浜野 正男)

Papas

新年あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍のなか東京オリンピックが開催されどうにか成功に収めました。今年は、北京冬季オリンピック、カタールサッカーワールドカップが開催されます。どうにか成功してスポーツ界を盛り上げてもらいたいものです。ただいま、第6波がせまりつつ中で皆様の健康と安全な暮らしがいとなまれることを願うばかりです。

【Papas 新チーム構成】

県シニアリーグの新年度チーム登録は昨年12月末となっていました。

リーグ登録の内容を報告いたします。

Recは昨年より、5名減で21名登録になり、大半が50代と高齢化が進んでいます。昨年同様、監督は田近昌幸、連絡担当は服部利崇、審判担当は高橋信一が担当いたします。高齢化が進む中で県リーグ4部の上位を目指して壮年サッカーを楽しみます。

Compは昨年より4名減で17名登録となりますが、今年度新加入予定が3名で実質1名減となります。監督は中川貴晴、連絡担当は大平潤、審判担当は瀬長が担当いたします。2016年以來の6年ぶりの1部での挑戦になります。

昨年末に横浜市 Over40・50 の意向調査を実施いたしました。ご協力ありがとうございました。横浜市シニアの登録は4月になりますので、再度意向確認を行いますのでよろしくお願いいたします。

新年度体制のメーリングリストの更新は順次行っていきます。不都合があれば事務局にご連絡ください。

【50代県リーグ創設】

昨年末に50代県リーグ創設アンケートにご協力いただきありがとうございました。

皆さまのご意向を創設に向けて参考にさせていただきます。ご意見質問があれば、50代創設準備委員会の服部、高橋、田近、宮崎にご相談ください。安全で楽しい壮年サッカーを皆さまの力で実現させましょう。

それでは、本年もよろしくお願いいたします。

(瀬長 義男)

ヨーガ

【明けましておめでとうございます】

明けましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。ありがとうございました。

ずっと続いていたコロナ感染予防のための我慢の生活が、昨年末から少し緩めても良い状況となっています。私も小規模ながら食事会や飲み会に参加することが出来て、この季節ならではの楽しい時間を持つ機会が増えました。

オンラインも便利で良いですがやっぱり実際に会えるというのは良いものです。

でも、十分に楽しんだ年末年始のお休みもそろそろ終わります。当然ですが体重計に乗るのがちょっと怖い。新型のコロナウイルスの感染が拡大しているようですし、少し緩んだ生活も感染対策中心の生活の戻さなければいけなくなりそうです。一緒に増えた体重も緩んだ体形も戻さないといけませんね。

毎年、年明けには「太っちゃいました。」とってレッスンに参加される方も多いのですが、そんないつもの悩みをいつものように味わえることさえも幸せに思えます。楽しかったこの時間に支えられて、また制限の多い生活も耐えていきましょう。

元のように自由な生活に戻るまで、きっと、もう少し。それを信じましょう。

新年の水曜ヨーガオンラインレッスンは1月12日スタートです。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(伊藤 玲子)

伊藤玲子先生のCD 新発売！
聴く！グナヨーガ

聴く！
グナヨーガ
チェア

収録時間：52分
ポーズ写真入りブックレット
8ページ

聴く！
グナヨーガ
フロア

収録時間：59分
ポーズ写真入りブックレット
12ページ

★お買い求め方法
 ①以下の薬局の店頭でご購入いただけます。
 光和薬局 神奈川区片倉5-5-1
 ※地下鉄片倉町駅前のARビル1階
 TEL: 045-482-2215
 坂田薬局 神奈川区三ツ沢中町7-9
 ※地下鉄三ツ沢下町駅3番出口を右に出て、
 徒歩5分
 TEL: 045-321-3653
 ②以下のグナヨーガ公式サイトからご購入いただけます。
<http://www.gunayoga.com>
 ③アマゾン (amazon) からご購入いただけます。
 ④アイチューン (iTunes) からご購入いただけます。

各1575円 (税込) 販売中



伊藤玲子先生

日本テレビに出演



YOKOHAMA
ANDO
 SPORTS

アンドウスポーツ

内田泰嗣税理士事務所

有限会社トップガン (ワンストップサービス)

税理士 内田 泰嗣

TEL/FAX 045-431-0408 〒221-0014 横浜市神奈川区入江 2-19-11 大口増田ビル 203号